

平素から組合員・利用者の皆さまには格別のご愛顧を賜り心よりお礼申し上げます。

この度、2023年度の経営内容をご報告するにあたり、「ディスクロージャー誌」を制作いたしました。ぜひご一読いただきたくお願い申し上げます。

さて、2023年度のわが国経済は、コロナ禍からの経済活動正常化が加速することで景気回復の期待が高まりました。しかしながら、物価高による消費の下押しと人手不足による供給制約、一部自動車メーカーの生産停止や能登半島地震の影響などで、景気回復は足踏みしている状況でした。加えて依然高い物価上昇圧力や世界経済の減速などのマイナス材料により、景気の低迷が長期化しています。

農業を取り巻く環境では、肥料や燃料などの生産資材価格が高騰する中、猛暑や暖冬、雨不足などの著しい気候変動がさまざまな農畜産物に影響を及ぼしており、生産農家にとって非常に厳しい1年となりました。また、「農政の憲法」と言われる「食料・農業・農村基本法」の改正案が閣議決定され、食料の安定的確保や環境と調和した産業への転換、人口減少下での生産水準や地域コミュニティの維持を目的に、環境にやさしい持続可能な農業への転換や新技術・新品種の導入などによる生産性の向上などが求められています。

こうした状況の中、JAはだのでは、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に資するべく、「不断の自己改革」に取り組むとともに、食と農を基軸に第六次中期経営計画（2022年度～2024年度）中間年度の実践に取り組みました。

組織運営では、支所運営委員会を主体とした地域の特色を生かした組合員参加型の活動に取り組むとともに、機関紙「JAはだの」の紙面を活用し農業や協同組合への理解促進と参加を促す広報活動につとめました。

営農指導事業では、訪問・相談活動を通じ、生産者の要望を踏まえた営農指導と販売提案につとめました。また、「はだの都市農業支援センター」と連携し、新規就農者支援や鳥獣被害対策、観光農業振興に取り組み、地域における農業生産基盤の維持・継続をはかりました。販売事業では、「はだのじばさんず」を拠点とした新鮮で安全・安心な農産物や手作り加工品の供給につとめるとともに、「Sun's Gelato」では秦野産農畜産物を使用したオリジナル商品を提供し、地場産農産物の魅力発信につとめました。経済事業では、生産資材が価格高騰を続ける中、農家の負担軽減をはかるべく春肥や重油への助成、畜産農家への支援を行うとともに、購買事業再編として、購買品を「本所」と「大根支所」へ集約しました。さらに、金融共済事業では多様化する相談窓口の一本化を目的に「資産相談センター」を設置するとともに、地域に根ざした金融機関として組合員・利用者の満足度を向上させる店舗づくりに取り組みました。

経営管理では、「西支所」の新事務所を竣工したほか、事業再構築計画第2次再編で「上支所」の金融共済業務を「西支所」へ統合しました。また、総合経営収支の安定確保とコンプライアンス態勢の徹底、効率的・効果的な監査の実施により経営の健全性と信頼性の維持につとめました。

JAはだのでは、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、さらなる地域農業振興と豊かで暮らしやすい地域社会づくりに取り組んでまいります。

皆さまの一層の参加、参画および利用結集をお願い申し上げます。

秦野市農業協同組合

代表理事組合長 宮永 均